

---

# 釧路市社会教育推進計画

---

## 第2次(令和6年度)実施計画

### 評価結果

# 評価の目的と方法

## 1. 評価の目的

釧路市教育委員会は、下記事項を目的に「釧路市社会教育推進計画（以下「計画」という）」の評価を行っています。

### 1) 計画推進に向けた事業の現状・課題の認識と改善

釧路市の社会教育を計画的に推進するため、各種事業が計画に沿ったものかどうか、事業実施の手段や進め方が正しいかどうかなどを、実施結果や推進方法等の点検により、成果や現状、課題を認識するとともに、見直しすべきものは見直しをしながら、後年度の事業計画へ反映させるものです。

### 2) 職員の意識改革

社会教育委員による計画の評価は、「常に市民は関心を寄せている」という、行政職員一人一人の意識改革につながり、よい意味での緊張感が保たれ、目的をもった事業の展開が期待できます。

### 3) 市民への説明責任の遂行

計画の評価を市民に公表することで、行政の透明性を高め、市民の視点に立った事業の推進が図られます。

## 2. 計画推進のプロセスと評価方法

計画は、Plan（計画）⇒Do（実行）⇒Check（評価）⇒Action（改善）の「PDCA」サイクルを基本に策定されています。しかし、予測不可能な時代（VUCA）に対応するには、部署や事業内容によっては「AAR」サイクルがマッチする場合もあるため、「PDCA」とらわれることなく、状況に合わせてブラッシュアップした事業の企画立案や実施、評価が必要となっています。

### 【VUCA】

Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・  
Ambiguity(曖昧性)の頭文字

### 【AAR】

Anticipation(見通し)・Action(行動)・Reflection(振り返り)  
の頭文字

★実施計画の評価は、本計画を策定した社会教育委員が、計画の「施策の方向」及び「基本方策」が達成されたかどうかを、それぞれコメントにより評価しています。

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
1	(1) 人権尊重の取組の推進	「いじめ」「DV」「児童虐待」等の人権を踏みこむ行為を、「許さない」「隠さない」「見のがさない」という意識を醸成します	いじめ問題総合対策事業	教育支援課	○SNS等によるいじめ問題については、子どものみならず大人社会においても大きな問題である。「他人事」「無関心」といった人間関係の構築等の難しさが根底にあると推察されるが、互いを人として認め合い、行動できる社会を目指すなど絶え間ない努力が必要である。 ○情報モラルの育成は子どものみならず世代に亘り喫緊の課題である。 ○地域・学校・家庭・行政等の連携、活動のさらなる充実が求められる。(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等のさらなる充実) ○いつの時代も社会的弱者は必ず存在する。人権尊重を理解し、深めていく教育や啓発が必要である。 ○いじめ報道の中には、明らかに犯罪行為と思われる事象も起きている。いじめは明らかかな他者への人権侵害であり、年齢への考慮はあるものの、法的な抵触になりうることを説明する必要がある。
			DV・虐待防止		
			DV・虐待防止	こども支援課	
			女性保護事業		
			釧路市地域子育て力強化事業		
			誰もが参画できる平等な社会づくりの取組や人権を侵害された方への相談・支援体制の充実など、人権尊重の取組を推進します		
		虐待防止センター事業	障がい福祉課		
	(2) 互いに認め合う取組の推進	性の多様性を理解するための啓発に努めるとともに、発達障がい等障がいについての正しい知識と理解を深め、当事者や家族への相談等支援体制の充実に努めます	ノーマイゼーションの学習	生涯学習センター(生涯学習課)	○障がいに関してのさまざまな相談、課題に対して、家庭・学校・地域社会をつなぐシステムの構築を進める必要がある。また、そのための人材の育成が重要である。 ○成人のみならず、児童生徒が相談できる精神科の拡充が絶対必要である。 ○パートナーシップ制度が進められているが、他市町村に対する呼びかけ、連携が今後必要である。 ○少子高齢化が進む中、女性、外国人の活躍がさらに求められるが、男女事業の実施、差別のない地域づくりを推進することが肝要である。 ○複雑になってきている今の社会において、多様性を重視する知識を若者や高齢者に関わらず学ばなければならず、事業の成果はあるのではないかと思う。 ○学びの場が個別に保障されること、その学びを生かし合うこと、この両面の経験、体験が児童には必要と考えるので、学校教育の中で反映されることを願う。
			釧路市特別支援教育コーディネーターブロック会議	教育支援課	
			研究センター研修「特別支援教育の充実Ⅰ」		
			特別支援教育の実施		
			障がい福祉サービス事業所販売会		
			男女平等の視点に基づいた家庭・地域における教育の推進や多様な学習機会の充実など、男女平等参画の意識を高める取組を行います	マタニティ講座	
		釧路市男女平等参画審議会の開催		市民協働推進課	
女性団体の育成、指導					
「くしろ男女平等参画プラン」推進事業					
道外派遣事業					
男女平等参画に関する情報の提供					
男女平等参画センター管理運営事業					
	くしろ男女いきいき参画表彰				
対する基本方針コメント	<p>○人間の発達段階に応じた「人が学び、生きる中での重要な根幹」の一つが人権そのものであることから、地域・家庭・学校・職場において人権問題を自身の問題として捉え、互いを尊重する意識(意思)を身につけることが肝要である。一人一人が生きづらさを理解し、寛容さを失わない社会を目指すことが社会教育には強く求められる。</p> <p>○子どもたちの健全な育成のためには、学校・家庭・地域の連携が必要であるが、各専門機関の支援も重要であるため、今後の取組を期待する。</p> <p>○人権尊重の概念は社会の第一義的なものであり、その学びは教育の柱ともいえる。単に知識に終わらせず、児童生徒の意識や行動の変容に至るよう多方面の取組が必要と考える。人権感覚の育成を図ることが肝要と考える。</p> <p>○人権を侵してはならないというのは、人が家庭や学校で他人との関わりで自ずと醸成される。中でも、人の命が最も大切であること。それは何ものにも代えがたく、人への命は地球よりも重いと表現される所以である。他人の命を奪うことは決してできないことであり、それはどの年齢であっても共通の認識である。人間の命の大切さを理解することは、とりもなおさずいじめや児童虐待のない学校や社会を構築することである。本市においては、公共機関で、あらゆる場において侵すことのできない人権の大切さを訴えている。また、障がい者が隠ることなく、ストレスを感じず普通に生活できるノーマイゼーションの普及活動も大変望ましい。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2 家庭・地域教育の充実	(1) 親の学習機会の拡充	ア 家庭や子育てのあり方について学ぶ講座や学習会等を開催します	家庭教育支援チームの運営・活用	教育支援課	○リーフレットや家庭教育通信「はぐくみ」の情報発信については、SNS等を活用し、保護者との双方向でやり取りできる工夫はできないものか。 ○体験的学習は「生きる力」の鍵の一つである。子や保護者のニーズを取り入れ、さらに充実を図っていただきたい。 ○博物館でホームページ、SNS等で情報発信されていることは成果であり、さらに進めていただきたい。 ○各講座の参加者アンケートから希望の多い内容を実施できたことは評価する。参加人数に関わらず、今後も事業を進めていただきたい。 ○各家庭が、経済的にも、子育て環境や情報取得にも格差が生じていると思われる。施策の優先順位を考える上で、ニーズがどこにあるのかを調べる必要性を感じる。
			家庭教育講座「ほわっと」		
			家庭教育支援事業「望ましい生活習慣の啓発」		
			家庭教育支援事業「教育講演会」		
		イ 親子で参加できる体験活動や講座など、親子のふれあいや子育ての楽しさを知る機会を提供します	市民学園講座「子どもチャレンジ」	生涯学習センター(生涯学習課)	
			親子教室	こども遊学館(生涯学習課)	
			夏休み親子土器作り教室	博物館	
			おそなえもちをつくろう		
	公民館講座(親子体験教室)	阿寒生涯学習課			
	親子映画会	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)			
	自然ふれあい事業	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)			
	(2) 子育て支援の体制づくり	ア ホームページやリーフレット等により、子育てサークルの活動や講座・学習会等の情報を提供します	ホームページ等による各施設情報公開	生涯学習課	○ホームページの活用を図るための掲載の工夫や、問い合わせ等による市民の声を拾い上げるなど、さらなる充実を図ることが肝要である。 ○保護者、子どもたちの交流の場づくりをさらに進め、「地域が子育て」に取り組んでいるという意識をさらに醸成することが必要である。 ○社会が希薄化している現在、子育て支援策は重要であると考えている。各事業を今後も継続していただきたい。 ○子育てに心配や不安を感じる親には、早期の相談場所が必要である。10月に開設の「子育て支援総合センター」が有効的に機能することを期待する。
			家庭教育支援チームによる情報の提供	教育支援課	
		イ SNSや身近な環境の場での、子育てに関するアドバイスや相談等の支援、情報交換ができるネットワークづくりを進めます	市民学園講座「子育て応援講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	
児童館を活用した子育て親子の居場所づくり			こども育成課		
地域子育て支援拠点事業					
利用者支援事業					
児童館母親クラブ事業					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2 家庭・地域教育の充実	(3) 地域コミュニティの活性化	地域学校協働本部と地域住民が連携した学校づくり、地域づくりに努めるなど、学校を核とした地域コミュニティ機能の向上に努めます	放課後子どもチャレンジ教室	教育支援課	○コミュニティスクールは、「誰のため、誰が進めるのか」ということを、地域・学校・行政の三者の共通理解のもと進められると考える。実施にあたって、風通しのよいコミュニケーションのなかを進めていただきたい。主役となる「子どもたち」の声をうまく受け止めていただくことが大事。 ○人材不足の中、人材の確保・発掘が課題。関係団体、地域企業とのさらなる連携協力が必要。 ○地域ボランティアが減少している中で、説明会や研修会を積極的に取り組み、学校と地域が活性化することを期待し、今後も事業を進めていただきたい。 ○今後もコミュニティ・スクールの取組を各学校で充実させてほしい。
			コミュニティスクール活用推進事業		
			地域学校協働本部事業		
		町内会等の自治組織の活性化を図り、人と人とのつながりをつくるともに、見守り合い、支え合う意識の向上に努めます	学校・教育支援ボランティア	教育支援課	
			地域うらおい学習推進委員会運営助成		
			釧路市子ども会育成連合会単位子ども会への支援		
	(4) 地域が子どもを育てる取組	あいさつ運動や声かけ運動など、子どもが安全・安心に暮らせるよう、地域全体で子どもを見守る体制を整えます	すずらん運動	阿寒生涯学習課	○「すずらん運動」「こども110番」はありがたい。これらにつながるよう地域への紹介、情報の発信を行政がさらに応援していただきたい。 ○地域で、子どもたちの安全確保の取組は必要であるが、「こども110番の家・店」の機能が本当に果たしているのか見えにくい。 ○既存の民生児童主任委員の活用などが考えられる。
			こども110番の家	青少年育成センター	
		企業や各種施設等と連携を図り、釧路市全体で子どもを育て見守る体制を整えます	こども110番の店	青少年育成センター	
			どさんこ・子育て特典制度	こども育成課	
地域児童健全育成事業					
対する基本方針コメント	<p>○ヤングケアラーの問題、教育格差など対応すべき課題は大きい。さまざまな難しさの中でこそ地域の力が問われる。子や保護者に対する情報発信、相談体制の充実が求められる。</p> <p>○町内会活動も、入会者の減少、高齢化などで支援体制が厳しい状況の中、地域の教育資源をより生かし、連携を図り、協力体制を再構築していく必要がある。</p> <p>○子育てしていく上で、家庭環境、地域の役割、学校との連携が大切であり、市民一人一人が、子どもたちへのサポートの重要性を高める施策が必要と考える。</p> <p>○一番小さな集団と言われる家族。そして、家族が生活する場が家庭であると一般的に考えられている。さらに、家庭は地域を構成し、家庭内にいる子どもは地域によって育まれる。しかし、残念ながら、近年、地域は子どもを見守る力や各家庭との結びつきが希薄になっている。近くの子どもであることは分かっているにもかかわらず名前までは知らないという場合が多い。保護者も子どもの教育に余裕がなく、自信をなくし育児ノイローゼに陥ることもある。隣に子育ての先輩がいても付き合い方が疎遠であると相談も二の足を踏む。一人で悩むことなく相談できるのが市主催の講座であり体験活動である。集団で学び、互いに励まし合うことで、アドバイスも抵抗なく受け入れることができると考える。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
3 青少年の健全育成	(1) 体験学習機会の充実	ア 多様な社会体験・自然体験等の体験学習を通じ、社会性や生きる力を育む取組を進めます	市民学園講座「まなぼとわくわく体験隊」	生涯学習センター(生涯学習課)	○「インターンシップ事業」は小、中、高、大につながる大切な足がかりとなるものである。キャリア教育の一步として事業を継続、拡大していただきたい。 ○参加人数、日程、体制など、前年度の反省を生かし、さらなる充実を図っていただきたい。 ○参加人数は少なくとも、体験学習を通じて社会性を学ぶことは一定の成果があり、施策の方向は達成されている。 ○体験学習の内容を工夫しながら、施策の継続を行ってほしい。	
			図書館司書業務体験機械の提供	図書館(生涯学習課)		
			宿泊体験学習	阿寒生涯学習課		
			チャレンジスクール			
			図書館のおしごと体験	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)		
			赤ちゃんとのふれあい体験事業	教育支援課		
	(2) 次代を担う子どもの育成	イ 不登校等悩みを抱える子どもたちが、宿泊体験等の集団生活等を通じ、人間関係や社会的スキルを学べる場を提供します	「子どもミーティング」や「少年の主張」、郷土愛を育てるための学習会など、子どもの健やかな成長を願う全市民的な取組を進めます	くしろ子どもインターンシップ事業 「チャイルド1DAY・仕事1日体験」		各施設指定管理者(スポーツ課)
				地域スポーツ・文化キッズクラブ		
				不登校学級宿泊研修支援		教育支援課
				「子どもミーティング」～Let's THINK&ACT～		教育支援課
				「少年の主張」釧路市大会		
				他都市の青少年との文化・スポーツ交流等を通じ、互いの郷土の理解を深めるための活動機会を提供します		青少年交流事業「出水市ツル交流」
(3) 子どもの成長に向けた支援	ア 関係機関・団体との連携のもと、子どもたちへの的確な助言・指導、関連情報の周知・啓発に努め、子どもの健全な育成に向けた取組に努めます	「釧路市子どもミーティング」～Let's THINK&ACT～	ブロンズ隊友好釧路市八千代市少年少女スポーツ交歓大会	各施設指定管理者(スポーツ課)		
			地域イベント巡回活動	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)		
			広報誌による啓発活動			
			釧路市青少年問題協議会	教育支援課		
			青少年健全育成団体への支援			
			有害環境浄化活動の推進	青少年育成センター		
			非行や不審者等の情報提供による啓発の推進			
			補導活動の推進			
イ 「釧路市ファミリーサポート事業」等による、悩みや問題を抱える子どもや親への相談・指導体制の充実を図ります	教育相談体制の充実	教育支援課				
	釧路市ファミリーサポート事業	青少年育成センター				
対一基本方策に	<p>○青少年の健全育成に関わり、経済面、医療面など、さまざまな面からの支援が必要である。だからこそ、地域・家庭・学校が連携協力して、「地域の宝」を育てているという認識のもと、たゆまぬ取組を進めていくことが必要である。</p> <p>○「自己有用感」「セルフエスティーム(自尊感情、自己肯定感)」の育成が欠かせない。そのためにも体験的学習の充実、人との関わりを図る取組、他との交流が不可欠となる。さらなる取組の充実を推進していくことを期待する。</p> <p>○悩みや問題を抱える子どもたちへの相談や支援、非行防止に向けた巡視活動等健全育成のための基本方針に今後も期待し、我々市民も協力を惜しまないよう努力したい。</p> <p>○少子化と高齢化で日本では子どもは国の宝とまで称されるようになってきている。したがって、子ども一人あたりにつき込む国の金額は年々増加しているのは確かである。今の子どもたちは優遇されているように思われる。しかし、そのことが幸福につながることはない。不登校が年々増加しており、いじめ撲滅などを学校ぐるみで取り組んでもなくならない。不登校が不登校のまま良いと思っているわけではなく、友達の中に入って自己を認めてもらいたいはずである。市は、不登校児童生徒の通えない実際の程度に応じて、さまざまな施策を講じている。徐々に壁を取り除いていけるシステムである。</p>					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
1 多様な学びの場の提供	ニーズにこたえる (1) 学習機会の提供	ア 興味・関心をもてる参加しやすい内容の講演会やイベントを開催します	生涯学習フェスティバル	生涯学習センター(生涯学習課)	○昨年度に増して年齢問わず多くの市民が多様な学びを主体的に実践された。コロナ感染症の5類移行により、引き続きの感染対策は講じつつも、コロナ禍で停滞気味であった学びの機会と主体性を取り返すかのように、数多くの興味深い企画や地域との連携を図る企画など、積極的に実践、展開されている。 ○参加者の評価も高く、リピーターも増加していることなどから、多くの市民が多様かつ充実した学習機会があることで、学ぶことへの興味と関心が高まり、事業に参加されることで興味と関心が、“主体的に学ぶ”に昇華されていると判断し、「施策の方向」は達成されたものと考えている。この成果は、各主管の事業計画と運営の努力と充実があったからだと考える。 ○各主管課のホームページが見やすく興味をもちやすくなるよう工夫されており、Facebook・Instagram・YouTube・Xなど多様なSNSにより情報展開され、かつ各SNSとホームページを連携させることで、リアルタイムな情報提供を実現するなど相乗効果を生み出している点も大変評価できる。令和7年度も引き続き市民ニーズに応えた充実した学びが深まる事業に取り組んでいただきたい。	
			季節行事	こども遊学館 (生涯学習課)		
			宇宙の日イベント			
			サイエンスショー			
			太陽観測会			
			天体観測会			
			企画展示事業			博物館
			巡回展「移動博物館」			
			特別展・企画展の開催			
			博物館講演会			
		遊びんピック	こども遊学館 (生涯学習課)			
		サイエンステーブル				
		自然工作工房				
		工作遊び				
		工作教室				
		展示活用事業				
		実験教室				
		天文教室				
		伝承遊び				
		プラネタリウム通常投影会				
		プラネタリウム特別投影会				
		鑑賞会				
		室内大型砂場遊び				
		ウ 夏休みや冬休み等における学習活動として、多くの子どもたちが興味・関心をもてる参加しやすい講座や教室を開発します	ゴールデンウィークイベント	こども遊学館 (生涯学習課)		
			春休み企画			
			夏休み企画			
			冬休み企画	美術館 博物館		
			各種イベントの実施			
子ども学習支援						
化石・地質講座						
こども工作教室	各施設指定管理者(スポーツ課)					
エ 多様化する市民ニーズや今日的課題に対応するため、社会教育施設がもつ機能を活かした学習機会を提供します	生涯学習まちづくり出前講座	生涯学習課				
	施設間の連携事業の実施	文化(社会教育)施設				
	図書館行事「見学ツアー」	図書館(生涯学習課)				
	サイエンスルーム事業	こども遊学館 (生涯学習課)				
	校外学習支援					
	天体観測学習					
	出張天体観望会					
	学校教育への支援	博物館				
	体験学習センター(こころみ)各種主催事業	音別町体験学習センター (音別生涯学習課)				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
1 多様な学びの場の提供	(2) 豊かな人生を後押しする講座の提供	年齢、障がいの有無にかかわらず、多くの市民が教養や趣味の域を広げられ、生きがいや目標を見つめられる講座、教室を開催します	くしろ市民大学	生涯学習センター (生涯学習課)	○年齢別の人口推移は将来推移を鑑みて、団塊の世代を含め高齢者人口はピークと想定され、シニア層の長期滞在者も多数いるなど、シニア層が大変多いと想定され、本施策の重要性をあらためて感じる。 ○各施策においては、生きがいや目標の発見、ICT等のデジタル活用への現代的課題解決に向けた講座、釧路の歴史・文化への理解と関心を深める講座など充実した学習活動機会の提供・充実化が、生涯学習センターや阿寒・音別生涯学習課、博物館等により大いに図られており、参加者、受講者に好評かつ評価も高いことから「施策の方向」は達成されたものと考えている。 ○デジタル社会の構築にあたり、釧路市デジタルトランスフォーメーション実行計画が推進されているが、全国の自治体においてもデジタルデバインド（情報格差）の対応が直面する大きな課題となっている。年齢を問わず、デジタル技術にアクセスでき、状況を創出できる学びの場に注力することも重要と感じる。 ○釧路市の7月現在の外国人住民人口は1,405人で、10年前の約2.8倍に増加している。今後も増加傾向と予測したとき、早い段階から、さまざまな観点で相互理解を進めていく必要があり、社会教育としても多文化理解に資する事業実施が望ましいと考える。 ○ICTに関する講座を増やしてはどうか。 ○多種多様な講座を開催し、対象者が自由に選択・参加・学ぶことができ、交流を深められている。対象者の意欲をかき立て、体力向上や興味関心を高めながら成果を上げている。
			市民学園講座「いきいき女性講座」		
			市民学園講座「まなぼとシニア講座(わくわくセカンドライフ)」		
			成人楽集	こども遊学館(生涯学習課)	
			阿寒シルバー大学	阿寒生涯学習課	
			音別町高齢者学級「音老大学」	音別生涯学習課	
			社会教育講座		
	ICT等デジタル活用に関する知識や技能を深める内容の講座や教室を開催します	ICTに関する講座の開催	生涯学習センター (生涯学習課)		
	(2) 豊かな人生を後押しする講座の提供	地域の歴史や文化、自然、産業等を学べる内容の講座や教室を開催します	地産地消の取組	生涯学習センター (生涯学習課)	
			市民学園講座「釧路学教養講座」		
			市民学園講座「ライフアップ講座」		
			郷土講座	図書館(生涯学習課)	
			映像アーカイブ上映会	博物館	
			博物館学芸員トーク		
学芸員展示解説					
釧路産業史講座					
釧路歴史講座					
(3) 子どもの読書活動の推進	学校と釧路市中央図書館が連携した「学校ブックフェスティバル」等の事業を実施し、子どもの読書意欲の向上と読書習慣の形成を推進します	子ども読書活動の推進	図書館 (生涯学習課)		
		釧路市中央図書館「調べ学習コンクール」			
	図書館資料の充実や図書館バスの運行に加え、釧路市PTA連合会や釧路市連合町内会等諸団体と連携した全市的な読書活動イベントの開催など、子どもたちが多くの本に出会える機会の充実に努めます	図書館資料の充実	図書館 (生涯学習課)		
		図書館バスの運行			
		おはなし会			
		子ども読書デビュープロジェクト	阿寒生涯学習課		
		移動図書館バス「よむよむ」の運行			
		親子イベント			
ふれあい図書館資料の貸出	音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)				
対する基本方針に	○多様な学びの場の提供にあたっては、方策（施策・事業）の対象者である市民ニーズの把握から、各事業において適切な学びの場の提供と、事業後の検証の実践により「基本方針」は推進されているものと評価する。市民が学習で知識を得るだけで終わるのではなく、得た知識が生かせる場の提供の充実もあれば、知識は見識へと昇華し、さらなる自己肯定感の向上が実現され、多様な学びがより生きるものになると考える。 ○多様な学びの場は提供されているが、さまざまな形でさまざまな年齢層に対して、多様さの次に何をみているのか知りたい。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2 学びの場の環境の充実	(1) 学びを継続するための情報の発信	ア 「生涯学習ハンドブック」やホームページ、SNS等により、各施設でのイベントや講座・教室の内容等の情報をわかりやすく発信します	「広報くしろ(生涯学習か'ト)」による情報提供	生涯学習課	○生涯学習ハンドブックでは人材バンクの紹介や豊富な各活動の案内など分かりやすくまとめられている。「これから何かをはじめたい」という市民ニーズに適切に対応されると同時に、学習者が学習成果を地域に生かして活躍してほしいという施策の趣旨についても丁寧に示されている。 ○こども遊学館では、SNSによる大変興味深く、分かりやすいイベントの告知等をされており、特に保護者の利用の多さを確信する。ホームページのみならずSNSを積極的に活用され、市民へのアプローチに工夫があることで、多くの市民の参加と学びの継続に向けた成果を挙げていることを評価する。 ○広報くしろと生涯学習ハンドブックの間のようなものが必要ではないか。イオンやスーパー等での設置も必要と考える。
			「生涯学習ハンドブック」の作成・公開		
			施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)	
			こども遊学館の情報発信	こども遊学館(生涯学習課)	
		イ 生涯学習アドバイザーや社会教育主事による学びの相談体制の充実、講座終了後のアンケートの実施など、学びを継続できる仕組みづくりに努めます	生涯学習相談と情報提供	生涯学習センター(生涯学習課)	
			市民ニーズの把握		
	(2) 施設・環境の整備	ア 安全・安心に学習できる社会教育施設をめざし、計画的に整備を進めます	生涯学習センター施設整備	生涯学習センター(生涯学習課)	○各施設において計画的に適切な整備と維持が進捗されていると評価する。 ○環境整備の面においても図書館、公民館の利便性向上、図書資料の購入や貸出による利用推進への工夫、職員を主体としたスキルアップ研修の実施など積極的に実践されており、ハード・ソフト両面が充実化し成果をあげられていることを評価する。 ○ハンドブックの情報が広報くしろやホームページで発信されているが、ネット知識と意欲のある方のみが辿り着く可能性があり、そこまでに達していない方の中で「何かをはじめたい」と考えている方は潜在的に多いかも知れず、その方々へのアプローチとして、デジタル媒体を容易に扱える40代、50代世代に事業を知ってもらい、親に勧めるという手法も考えられる。さらに、ハンドブック内のコンテンツ単位の楽しそうな紹介ページがあると尚、紹介しやすいと感じる。 ○さらなるクールシェルターの必要性を感じる。
			市民文化会館施設整備	市民文化会館(生涯学習課)	
			各施設のAED設置と心肺蘇生法等の応急手当講習会の受講	各文化施設	
			図書館施設の補修・更新	図書館(生涯学習課)	
			図書館ネットワークの推進		
			阿寒町公民館施設整備	阿寒生涯学習課	
			社会教育施設の整備(音別地区)	音別生涯学習課	
		イ 情報拠点施設の釧路市中央図書館をはじめ、各種社会教育施設における資料やレファレンスの充実等環境整備を図り、多様な学習ニーズへの対応に努めます	図書館資料の提供	図書館(生涯学習課)	
図書館の情報提供機能の充実					
阿寒町公民館図書室資料の充実			阿寒生涯学習課		
		ふれあい図書館資料の充実	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)		
対する基本方針コメント	<p>○「これから何かをはじめたい」と考えている方への適切なアプローチ、また、初めて情報を目にした方が「これから何かをはじめたい」と考え、自らの興味関心に添えるような豊富なコンテンツがあることで、市民の学びへの参加と継続が大いに図られる土台が強固に構築されると考える。これから何かをはじめたいと考える方も多く想定され、生涯学習ハンドブックの内容や誘導も含めてアップデートできると、さらなる利用増につながると思う。本方針を達成するうえで重要であるソフトとハードを両輪とした施策運営と整備は、市民ニーズや事業検証をインプットとしながら有効にアップデートされている点も含めて基本方針は推進されていると評価する。</p> <p>○学びの場は、特に博物館、遊学館、まなぼとに限られる。人が集まりやすい場で実施することはできないか。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
3 成果を活かす学びの場の推進	(1) 人材発掘・育成とその確保	専門分野の指導を含め、社会教育施設等でのボランティアを育成するための講座や研修会を開催するとともに、知識や技術をもつ人材の発掘に努めます	ボランティア活動の学習	生涯学習センター (生涯学習課)	○人材発掘・育成とその確保に向け、各種ボランティア養成講習会や研修会を開催され、知識、技術を有する担い手を適切かつ有効に進められており、本施策は達成されていると評価する。 ○ボランティア活動の充実化や子どもたちの指導を担うリーダーの育成・活動支援は特に重要と考えるので、引き続きの活動に期待する。 ○ボランティアを増やす取組が必要ではないか。	
			図書館ボランティア育成	図書館 (生涯学習課)		
			こども遊学館ボランティア研修	こども遊学館 (生涯学習課)		
		釧路市こども遊学館等の社会教育施設と高等教育機関等が連携を図り、学習活動支援のための担い手を育てる取組を進めます	こども関連施設・教育機関支援事業	こども遊学館 (生涯学習課)		
			高等教育機関支援			
	地域施設間連携事業					
	(2) 活かせる場の提供	自身の学習成果や特技等を発表できる場、学習者同士が交流できる場の確保に努めます	生涯学習人材バンク登録制度	生涯学習課		○生涯学習で学んだ方が、学習成果をもって主体的に活躍できる取組が有効に実践され成果を上げており、本施策は達成されていると評価する。 ○阿寒町公民館では、Wi-Fiやエアコン設備を整え、クールシェルターとして和室を開放し住民の安全安心、留意に努めている。 ○発表交流などによる成果を分かりやすく伝えてはどうか。
			こども遊学館ボランティア交流	こども遊学館 (生涯学習課)		
			特別展・私の博物館	博物館		
			博物館友の会との連携			
講座や学習会等で身につけたスキルを、ボランティア活動や地域貢献活動として実践できる場を提供します		こども遊学館読み聞かせボランティア「おはなし会」	こども遊学館 (生涯学習課)			
	阿寒町公民館図書室「おはなし会」	阿寒生涯学習課				
	ふれあい図書館「おはなし会」	音別生涯学習課				
対する基本方針コメント	<p>○多様な学びの場があり、この学びの成果が循環されることで、さらなる学びとボランティア活動を主体とした主体的な行動へとつながる本施策は素晴らしい。学習成果を活かせる場を提供することで、主体的かつ活動的な市民、我が釧路市を支えるアクティブシチズンが増加している成果により基本方針は有効に達成されたと評価する。</p> <p>○多様な学びの場に参加し、学んだ方が学びをもとに、学びの輪と主体性が広がっていく素晴らしい方を、今後も引き続き市民ニーズと事業検証をインプットに、事業をアップデートさせながら展開されることを期待する。</p> <p>○各事業は計画性をもって進捗され素晴らしい結果を出されている。計画に、ともに戦略（例えば、学習機会の利用・何かはじめてみたいと始めた講座による知識と技能の習得→学びの成果を活かせる場での活動→自己肯定感と主体性、使命感の醸成→学びの輪が広がる→アクティブシチズンの創出のようなストーリーに載せて）を設定すると、素晴らしい各事業の評価のみならず、施策の方向としての総じた成果も検証できると考える。</p> <p>○学びの成果をどのように活かし、次につなげていくのか、見直しをもつ必要がある。</p>					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
1 自然を 生かした 活動の 推進	(1) 豊かな自然環境の保護と啓発	ア 自然への理解や活動、希少な動植物の現状と課題等の情報を広く発信し、自然環境の保護意識を醸成します	博物館情報の発信	博物館	○多種多様な動植物が存在する釧路市には2つの国立公園があり、重要な観光資源となっている。この豊かな自然について、持続的に調査・研究を進める地道な取組が望まれるが各種事業では着実な成果をあげていると評価できる。 ○WebサイトやSNSを利用したデジタル情報発信が充実してきている。同時に、「獣医師よもやまガイド」のような参加型による直接働きかける情報発信も必要と考える。両方の利点を組み入れた効果的な情報発信を期待する。 ○海外に行くとき美術館、博物館などを訪ねるが、釧路市の博物館の多言語案内及び二次元バーコードによる詳しい解説案内は大変良く、インバウンド来館者にとっても利用しやすいものとなる。展示の案内・解説、オンラインコンテンツなどさらなる充実を期待する。 ○動物園での研究調査事業は、地域ならではの自然環境・希少動物の保護等を進める上で非常に重要である。専門家による出前講座や来園者への解説は、親子をはじめ、多くの来園がある動物園という場が性質上大変良く、キャリア教育という意味でも意義深い。 ○釧路湿原をはじめとする道東釧路地方には多くの動植物が息し、貴重な存在であることは発信できており、地域住民や子どもたちへの浸透が伺えるので一定の成果があったと考える。その方向性を今後も引き続き発信してほしい。
			出前講座「動物園のお仕事」、「タンチョウ学び隊」	動物園	
			動物園情報の発信		
		イ 国内外の関係機関との学術交流等を通じて、希少動植物の種の保存と保護増殖に取り組みます	タンチョウ生息域外保全事業	動物園	
			野生タンチョウにおける感染症に関する調査事業		
			シマフクロウ生息域外保全事業		
			希少哺乳類の増殖事業		
		マリモの保護・調査研究事業	阿寒生涯学習課		
		(2) 多様な自然体験・学習機会の充実	ア 身近な自然や特色ある気候風土を生かした、さまざまな学習機会の充実を図ります	自然観察会	
	自然観察会			こども遊学館(生涯学習課)	
	春採湖畔いきもの観察会			博物館	
	こどもいきもの講座「キタサンショウウオ産卵観察会」				
	化石発掘体験学習			阿寒生涯学習課	
	イ 自然や生きものとのふれあいを通じ、「いのち」の大切さを知り、他を思いやる「心の教育」の推進と釧路の自然を体験できる学習機会を提供します		サマースクール	動物園	
			こども動物園		
			「総合的な学習の時間」プログラム		
	ウ 自然体験・観察の専門的指導者や施設案内ガイド等のボランティアの確保・活用に努めます		天文指導員養成講座	こども遊学館(生涯学習課)	
		動物園ボランティア養成事業	動物園		
対する本コアメソッドに	<p>○野生動植物との接し方について、今後新たな施策が望まれる。特にヒグマ対策については、観察会の安全対策はもちろん大切だが、より長期的展望に立った視点での施策が必要と思われる。</p> <p>○自然保護活動と人間の生産活動は、いつの時代もいろいろな課題を生んでいる。その中で、自然の重要性を知らしめる取組がますます必要となってくる。今後も多様な取組を期待する。</p> <p>○私たちが守ろう、保護しようとしている自然環境が、「どうして貴重なのか」「なぜ保護することが必要であり大切なのか」といった理由付けまでを認識している人たちは少ないように感じる。上っ面の、「自然は守らなければならない」ではなく、守ることが自分たちとどのようにつながっているのか。といった、もう一歩踏み込んだ保護意識の意味づけや理由づけを、学術的な視点だけに止まらず、一般市民のレベルで「○○の生態系を維持することは私たちの生活と◆◇といった深いつながりがあるから」のような、解釈レベルでの発信に重きを置いてみてはどうかと思う。例えば、「釧路湿原が、いわゆるタムの働きの一端を担っている。」のようなレベルで。このようなことを意識して生活している釧路市民はどれだけいるだろう、きっと少数ではないか。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2 文化・芸術活動の推進	(1) 芸術鑑賞機会の充実	ア 「広報くしろ」やホームページ等により、芸術鑑賞に関する情報を広く発信します	長期滞在者等へのPR	生涯学習課	○市民への芸術鑑賞の提供機会が多いに越したことはないが、行政の現状を考慮した中では提供できていると考える。 ○美術館、博物館、動物園などでの外国人観光客向け多言語パンフレットは必須である。 ○来館者、来場者が見学、監察した内容を振り返ったり保存したりできる媒体の充実が引き続き行われることを期待する。また、国内外の芸術文化講演も継続的に実施されることを期待する。 ○芸術鑑賞の情報発信と機会の確保は今後も継続して進めていただきたい。 昨年度、全道各地の美術館共通の「入場券」の話がもち上がったが、そのような取組を積極的に取り入れ、道内の美術館巡りをしている方々も巻き込んだ環境づくりも併せて進めてもらうことで、より集客も見込めるものと考えている。
			外国語による案内表示	生涯学習施設	
		イ 幅広い領域の芸術を鑑賞できる機会の確保と、そのための支援を行います	文化振興助成	生涯学習課	
			道立釧路芸術館開催特別展の助成		
			芸術鑑賞事業	文化振興財団(生涯学習課)	
			特別展	美術館	
			常設展(グラ・コレ、プチ・コレ)		
			道展・釧路移動展		
	所蔵作品等巡回展事業				
	(2) 多様な文化芸術活動の充実	ア 市民の自主的な文化芸術活動への支援とともに、成果発表や参加できる場の拡充と、そのための機能の整備充実に努めます	友好都市出水市文化交流事業	生涯学習課	
			文化芸術団体の紹介		
			釧路市文化団体連絡協議会への支援		
			釧路市芸術祭への支援		
			展示会事業	文化振興財団(生涯学習課)	
			地域文化振興事業「発表機会提供事業」		
			釧路市文化団体連絡協議会阿寒支部への支援	阿寒生涯学習課	
			阿寒町総合芸術祭	実行委員会(阿寒生涯学習課)	
			釧路市文化団体連絡協議会音別支部への支援	音別生涯学習課	
			音別町郷土芸能保存会活動への支援	音別生涯学習課	
		音別町総合文化祭	実行委員会(音別生涯学習課)		
釧路市障がい者芸術作品展		障がい福祉課			
イ 学校、文化団体等が連携し、子どもたちが文化芸術にふれる機会の充実と活動を支える取組を促進します	各種講習会等開催助成	生涯学習課			
	全国・全道大会派遣・開催助成				
	学校での文化芸術活動の支援				
	地域文化振興事業「少年少女の芸術活動支援」	文化振興財団(生涯学習課)			
	アートスクール事業	美術館			
	芸術劇場の開催(阿寒地区)	阿寒生涯学習課			
	芸術劇場の開催(音別地区)	音別生涯学習課			
	ウ 学校での文化部活動の地域移行を見すえ、子どもの文化芸術活動を支えるため、活動の環境充実に向け、学校と関係機関・団体等による体制構築に取り組みます	学校部活動の環境整備	生涯学習課 学校教育課		

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2 文化・芸術活動の推進	(3) 地域・郷土文化の発展	ア 地域芸能等郷土の文化芸術の保存・伝承の取組を進めます	文化芸術による地域振興のための情報収集	生涯学習課	○地域芸能などの文化芸術の保存・伝承を継続していくことは非常に重要である。次世代への継承や次世代の育成に関する困難や課題を乗り越えられる施策・方針を常に考えていく必要があり、少数、小規模であっても継続していくことを期待する。 ○「ふるさと給食」は重要な事業であり継続を期待する。釧路独自の豊かな食材に工夫を加えて調理したものを通じて、子どもたちの釧路の自然環境や地域性への関心も高まる。「食育」としても食べ物を通じた学びの広がりも期待できる。 ○今後消える恐れのある、記録として残していきたい地域の取組を積極的に掘り起こす発信の不足を感じる。例えば、釧路の基幹産業のひとつであった炭釜も消えてから30年が経過するが、当時の貴重な動画を持っている方が多くいる。そういう方々を発掘するような、広く一般市民に呼びかけて募集してみてもどうか。そんな声を耳にもするので積極的に発信してみてもどうか。十條製紙(日本製紙)も工場を閉じ、釧路市には大きな転機となっているここ数年、これに係る資料も早く集めないと消えてしまう恐れもあるかもしれない。
			釧路新書・叢書の発刊		
			郷土史のデジタル化	図書館(生涯学習課)	
			所蔵資料展		
			阿寒町郷土資料所蔵室移動展示	阿寒生涯学習課	
			郷土資料所蔵室事業		
			郷土芸能の保存・伝承		
			郷土芸能「謠まつり音頭」の伝承活動	音別生涯学習課	
			郷土資料の展示	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	
			学校給食(ふるさと給食)	教育支援課給食担当	
		イ 地元の芸術家や作家、文化芸術団体等の活動の支援と功績に対する顕彰を行います	釧路市文化賞・文化奨励賞	生涯学習課	
		郷土芸能保存活動への支援			
		郷土作家展	美術館		
		ウ 郷土文学の発展のため、文学館を中心に文学作家の作品や資料の収集・保存・公開を行います	地域資料の公開	図書館(生涯学習課)	
		郷土作家資料の整備			
釧路地域の文学紹介	文学館(生涯学習課)				
対する基本コメント	○将来の文化芸術活動を予想すると、人口減少問題も絡んで、「担い手」の減少による活動の停滞もしくは消滅が考えられる。そうならないためにも事前に活動の実態把握をし、何らかの対策を打つ必要性に迫られている。 ○「来るものを待つ」のではなく、こちらから見つけに行く動きによってもう一歩施策の達成へ近づけると考える。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
3 文化財の保護・活用とアイヌ文化の保存・継承	(1) 文化財の保護と活用	ア 文化財である希少動植物の保護・増殖の取組と、そのための調査・研究、情報の発信に努めます	キタサンショウウオの保護・調査研究事業	博物館	○市民に対して、文化財の認識を高めてもらうための方策は継続的に必要と思う。保護対策においても地道な事業実績が求められている。 ○地域の文化財の保護と活用については、調査研究も継続されており、その成果の一部を市民に公開する講座が継続的に行われている。大変重要な事業だと考える。 ○オンラインによる情報公開にも期待するが、やはりその場に出かけて行って体験し、学習する講座がより大きな成果をもたらすと考える。市民が親子で参加しやすい魅力的な講座に今後も期待する。 ○情報発信に努めることや保護・保全の意識の高揚など、自然環境を保全するための取組の方向性はここに記載されているとおりである。ただ、ここでうたっていることと、釧路市の動静が乖離している感じを受けている。横との連携も密にしながら情報共有をしっかりと行うことに努めることの大切さを感じる。
			春探湖のヒブナの保護・調査研究事業		
			NPO法人「タンチョウ保護グループ」との共同調査・啓発活動	動物園	
			タンチョウの保護・調査研究事業		
			傷病タンチョウの保護・収容事業		
			希少鳥類の保護・増殖事業		
		イ 文化財の保護・調査活動を市民と協働して取り組み、保護・保全意識の高揚を図ります	国史跡等探訪会	博物館	
			北斗遺跡復元住居補修等環境整備		
	竪穴住居屋根ぶき体験				
	国史跡釧路川流域チャン跡群（ハルトルチャランケチャン跡）整備				
	ウ 関係機関との連携等地域一体で貴重な文化財を守り継承する取組を進めます	指定文化財の審議	博物館		
		文化財指定・登録に向けての取組			
エ ホームページ等による地域の文化財に関する情報の提供と文化財を活用する等の学習機会の充実を図ります	「文化財マップ」の活用	博物館			
	まちなか企画展				
(2) アイヌ文化の保存と継承	ア アイヌ文化を保存・継承する取組を促進するとともに伝承活動を支援します	春探アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会助成	生涯学習課	○ウポポイの開設や漫画ゴールデンカムイにより、北海道では、アイヌ民族、アイヌ文化に対して一定程度の認識が広まったといえる状況にあると考えられる。また、観光資源としてのアイヌ文化を積極的に活用しようとする取組がなされている。しかし、事業の多くは助成資金が続けられているうちは活発だが、資金の終了とともに衰退していくのが見られる。今後の課題として、各種の取組を持続させる人材の育成が早急に必要と思われる。 ○市民にアイヌ文化を理解してもらうには、行政の必要不可欠な施策の実施である。特に、学校教育において重要な事業である。今後も種々展開を期待する。 ○歌や舞台、楽器体験などの体験型の講座は、身体を通して学ぶ貴重な機会にもなるので、今後も継続的に行われることを期待する。 ○「アイヌ関連事業への支援」も大変良いと思う。授業実践を積み重ね、授業内容や方法を再検討、再構築し、アイヌ文化継承者と現場の教師との連携協働の方法や内容がますます充実していくことを期待する。 ○アイヌ文化についてはもっと力を入れ、市として大事にしていることへの発信は必要ではないか。阿寒地区ではとても大切にしていることが伝わってくるが、釧路地区からはあまり感じられない。	
		阿寒アイヌ民族文化保存会活動助成	阿寒生涯学習課		
	イ アイヌ語の伝承やムックリの演奏活動など、アイヌ民族の歴史・文化への理解を深めるため、学校等と連携した学習機会の拡充に努めます	アイヌ文化にふれる事業の提供	生涯学習センター(生涯学習課)		
		アイヌ関連授業への支援（アイヌの歴史や文化に関する学習プログラム）	教育支援課		
	ウ アイヌ民族の伝統的生活空間（イオル）の再生に向けた事業を推進し、アイヌ文化の保存と伝承を図るとともに、文化知見を伝承する取組を進めます	イオル再生事業の推進	生涯学習課		
		高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業			
対する基本方針に	○ソーラーパネル問題に関しては、情報があつたならば自分たちから求めて動き出すことは十分可能だったと考える。今後このようなことが再発しないよう、危機管理意識を高めていくことは必要と考える。 ○この領域だけでなくいろいろなところで、「来るものを待つ」を強く感じる。それでは多くの貴重なものを失ってしまう気がする。「自ら求めて動く」姿勢を社会教育活動から発信する必要である。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(1) スポーツ参画人口の拡大	ア スポーツ活動を行うきっかけづくりとして、誰もが興味・関心をもてる講座や教室を企画・開催します	ジュニアソフトテニス教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	<p>○さまざまな年代に向けたスポーツ活動のきっかけづくりとなる各種事業が行われており、その参加者が各種運動やスポーツを体験し、さらにそのスポーツ活動の継続にもつながっていることから「施策の方向」は達成されているものと判断する。</p> <p>○各施設の指定管理者が各スポーツ団体・連盟と連携し、市民がスポーツに参画するきっかけづくりとなる事業（イベント）を行っていることも評価したい。</p> <p>○少子高齢化や社会状況の変化によりスポーツ人口が減少傾向にあるので、今後さらに事業内容や開催時期、回数など市民のニーズを考慮するとともに、広報活動等の工夫をして参加者の増加に努めてほしい。</p> <p>○幼稚園や保育園、学校、スポーツ少年団等で積極的にスポーツをすることは、生涯スポーツの入口と言われるように、成人や高齢になってもスポーツを続けるようになると思う。今後も各施設管理者が実施しているスポーツ教室のほか、行政とスポーツ協会、スポーツ少年団、各種競技団体と連携した各種体験やスポーツ教室の開催の充実が望まれる。今後も成果を生かし各種教室の充実の中で、スポーツが好きな子どもが増えれば良いと思っている。</p> <p>○社会体育指導員が指導・育成してきた健康体操サークルや、スポーツ推進員が企画推進してきた高齢者向けの軽スポーツ、体力テストは、日頃スポーツをする機会が少ない年齢層のスポーツ参加を増やす取組となっている。</p> <p>○スポーツ課や各施設で企画している各種教室や講座は、安い参加費で気軽に参加できる場として今後も継続した開催が望まれる。</p> <p>○釧路湿原マラソンは市民はもちろん、全国各地から参加する歴史と伝統ある一大イベントである。学校やスポーツ関係団体、ボランティアスタッフの協力をもって開催しており、まちぐるみで取り組んでいるイベントが年々減ってきているなか、大切にしたいスポーツイベントである。</p> <p>○イベントの運営はボランティアスタッフを含め多くの運営者が必要である。ボランティアの確保・養成や運営スタッフのための予算確保も必要である。</p> <p>○高齢者や障がい者が参加できる教室、指導者やお世話をしている方の研修の充実は大切であり、今後もさらなる充実が求められる。</p> <p>○軽スポーツの普及を図るために指導者などの審判講習会の継続した開催や充実が望まれる。</p> <p>○対象年齢も幅広く、気軽に参加できる内容のものや、施設に足を運びきっかけづくりにもなっている。今ではなかなか体験できない内容も興味深く良いと思う。</p>	
			パークゴルフ初心者初級実践教室			
			スケート体験教室			
			年長さんからのアイスホッケー教室			
			夜間初心者ソフトテニス教室			
			冬休みはじめてのスケート体験			
			フィギュアスケートワンポイントレッスン			
			短期水泳教室			
			エンジョイイベントの開催			
			無料水なれ教室			
			年忘れもちつき体験			
			落ち葉de焼き芋フェス			
			無料滑走Day			
			夏祭り無料開放			
		イ 体を動かす楽しさや爽快感を実感できる機会を提供し、スポーツの継続意欲向上を図ります	社会スポーツ指導員の派遣	スポーツ課		
			やさしいエアロとショートコンディショニング	各施設指定管理者 (スポーツ課)		
			幼児アスレチック教室			
			ヒップホップ教室			
			リラックスヨーガ			
			ダイエットヨーガ			
			初中級エアロ			
			大規模運動公園「スタジアムフェスタ2024」			
			インファントクラス			
			青空ヨーガフェス			
			ポッチャ教室			阿寒生涯学習課
			小学生水泳教室			各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)
子ども水泳教室	音別生涯学習課					
子どもスポーツ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)					
ワクワクサマーフェスでのスポーツイベント開催						
理事長杯オールドタイマー決勝大会						

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(1) スポーツ参画人口の拡大	ウ 「釧路湿原マラソン」など、釧路の季節や自然の魅力を感じられるスポーツイベントを開催します	釧路湿原マラソン	実行委員会（スポーツ課）	/	
			釧路市体育祭の開催	スポーツ課		
			エ 高齢者や障がい者が安心して参加できるスポーツの機会と場の確保に努めます	サマーキッズスクール		各施設指定管理者（スポーツ課）
				ウィンターキッズスクール		
				カーリングクリニック		
				阿寒ウルトラオリンピック		
		オ 運動に関する基礎技術や知識を習得するなど、運動意欲を高める講座や教室を開催します	介護予防指導	各施設指定管理者（スポーツ課）		
			高齢者サークル指導			
			放課後等ディサービス「スポほい」			
			インクルーシブキッズフェスタ			
			シニア軽スポーツ教室	音別生涯学習課		
			くしろパラスポフェスタ	障がい福祉課		
	(2) 地域スポーツ活動の活性化	ア あらゆる年齢層が気軽に参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の推進を図り、生涯スポーツによる地域コミュニティの活性化を図ります	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ課		<p>○市民が気軽に行うスポーツ活動を通して交流が深められ、地域活性化につながる事業としての役割も大きいと考える。今後とも市民ニーズや状況を把握しながら推進していく必要があると考えている。</p> <p>○地域スポーツクラブは、中学校部活動の受け皿としても想定されており、現在25地区にあるスポーツ推進協議会や各小学校を中心に活動している少年団と連携して、地域スポーツクラブを育成する必要がある。</p> <p>○阿寒・音別地区については、小規模地区の利点を生かし、行政の支援の下、早急に幅広い活動の地域スポーツクラブの育成が望まれる。</p> <p>○軽スポーツの普及は成人や高齢者にとって気軽に参加できるスポーツで、特にパークゴルフやミニバレーは多くの市民が参加して健康増進が図られてきた。今後も施設の充実を図りながら軽スポーツの普及・開発を進める必要がある。</p> <p>○社会体育指導員やスポーツリーダー、スポーツ推進員と連携し、軽スポーツの研修や普及のための講習会、大会の開催を各地区で継続的に行うなど、地域スポーツ活動の活性化を期待する。</p> <p>○冬季スポーツの普及とスケートリンクの有効活用のため、スピードスケートやアイスホッケー、カーリング等の各年齢層に合わせたスポーツ教室等の開催が望まれる。</p> <p>○氷どくしろにとって、冬期間のスポーツ振興は、釧路の風土を生かした地域スポーツ活動の活性化にとって大切である。そのため、スピードスケート場やアイスホッケー場の有効活用が望まれる。</p>
			広域スポーツセンター機能の充実	各施設指定管理者（阿寒生涯学習課）		
			総合型地域スポーツクラブの育成（阿寒地区）			
		イ 地域間や参加者同士の交流を深める取組として、市民親善フロアカーリング大会等の軽スポーツ大会を開催します	市民親善フロアカーリング大会	スポーツ課		
			地域スポーツ大会の開催			
			市長杯パークゴルフ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）		
			理事長杯争奪ソフトボール大会			
			釧路市スポーツ協会阿寒支部主催事業	阿寒生涯学習課		
軽スポーツ大会			音別生涯学習課			
ミニバレーボール大会						
音別町内対抗競技大会	スポーツ協会音別支部（音別生涯学習課）					
ウ 親子で参加できる講座や教室、異世代が交流できるイベントの開催など、スポーツへの参加機会の拡充を図ります	親子スケート教室	音別生涯学習課				
	ファミリースポーツ交流会					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(2) 地域スポーツ活動の活性化	エ 釧路の気候風土を生かした特色あるスポーツ活動の推進とニュースポーツの普及・開発に努めます	ニュースポーツの普及・開発	スポーツ課	○単位スポーツ少年団やスポーツクラブの育成等を図り、冬期間、スポーツを楽しむ環境の充実や地域スポーツの活性化、スポーツ人口の増につながればと思っている。 ○地域の方々が、スポーツを通じてつながり合うことはとても良い。参加しなければ達成しないことでもあり、気軽に参加できれば良い。	
			市長杯長靴アイスホッケーチャンピオンズカップ大会	各施設指定管理者(スポーツ課)		
			カーリング大会	音別生涯学習課		
			子どもカーリング教室			
	(3) 健康維持と体力向上の取組	ア 体力測定の実施など、市民が日常生活習慣をふりかえられる機会の拡充を図ります	イ 誰もが気軽に参加できる基礎的な運動講座・教室等を開催するなど、健康維持と体力向上の取組を進めます	軽スポーツエンジョイ教室	各施設指定管理者(スポーツ課)	○市民が生涯を通じて健康な生活を送れるようにするための事業であると考えられる。それぞれの事業に参加した人にとっては、健康や体力向上への意識をもって活動し、有意義な活動となっていると考え、「施策の方向」は達成されていると判断する。内容や広報活動を工夫して市民への健康意識の啓発に努め、参加者が増えて健康な市民が増えることを期待する。 ○社会体育指導員が継続的に指導、育成してきた健康体操サークルの活動は高齢の女性も多く、成果を残している。また、パークゴルフ施設の充実やパークゴルフ協会等によるサークルの育成は、高齢者の体力向上に多くの成果を残している。 ○健康推進課等と連携した高齢者の体力測定や健康増進の継続した取組の充実が望まれる。 ○スポーツ振興財団をはじめ関係施設管理者が工夫し実施している講座や教室等の充実、各年齢層の体力向上と健康維持に大きな成果を残している。できれば身近なところでも継続的に参加できる教室の開催が望まれる。 ○各種スポーツ団体が開催している教室等との連携を図るとともに、教室やサークルの育成があれば今後もスポーツ活動を継続的に行う成人が増えるのではないかと。 ○スポーツ関連情報が総合的に聞ける場や調べられる場があると、日頃スポーツができない・しない方も気軽にスポーツに参加できるようになるのではないかと。 ○幼児から小学生向けのプログラムがもっとあると良いのではないかと。
				健康ウォーキング&ストレッチ		
				いつでも体力測定		
				生活習慣に関する調査および運動実践事業	健康推進課	
		しなやかボディピラティス	各施設指定管理者(スポーツ課)			
		やさしいフラダンス				
		ナイトヨガ1部・2部				
		楽々!健康体操				
		小学生アスレチック教室				
		かけっこ教室				
		スタイルアップレッスン「骨盤美人」				
		健康ストレッチ				
		水泳プログラム				
		水中健康ウォーキングプログラム				
		いきいき元気アップ教室				
		Step美Body～Step台で楽しくシェイプアップ～				
体幹ピラティス						
バレトン						
背骨コンディショニング						
スローエアロビック						
2025柳町FESTA						
ミニテニス教室						
阿寒地区ポッチャ大会						
対するコメント	○幼少期から遊びやスポーツに親しみ、身体を動かすことの楽しさを知り、心身ともに健康な市民が増えることを願うところである。今後とも、運動機能を高め、スポーツの楽しさや健康であることを実感できる年代にあった運動機能を提供してほしい。 ○幅広い年齢とさまざまなスポーツを準備することで、多くの人が参加しやすくなる。幼児期の体を動かすことの楽しい経験が、生涯のスポーツに対する意識の醸成につながる。					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
2	(1) 競技力の向上	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、地元選手がレベルの高いスポーツに接することができるよう、各競技の大会を積極的に開催します	JFAなどでひろはる釧路市スポーツ振興財団	各施設指定管理者 (スポーツ課)	○児童生徒を対象とした各種スポーツ競技大会等を開催し、選手の競技力の向上とともに、スポーツへの意欲向上にもつながる意義ある事業であり、多くの児童生徒が参加し効果をあげており、「施策の方向」は達成されていると判断する。また、現状に合わせた参加対象の拡大への工夫もあり評価したい。今後とも各競技団体とも連携して継続してほしい。
			スピードスケートスクール		
			ミニテニス技術講習会		
	レバンガ北海道バスケットボールアカデミー釧路市スポーツ振興財団				
	目指せ！スマイルジャパン				
	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、地元選手がレベルの高いスポーツに接することができるよう、各競技の大会を積極的に開催します	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、地元選手がレベルの高いスポーツに接することができるよう、各競技の大会を積極的に開催します	全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)	実行委員会(スポーツ課)	○競技力向上の基本は、幼児を含め小中高生が日常的にスポーツができる環境が身近にあるかどうか、スポーツが大好きな子どもをどれだけ増やすことができるかにかかっている。部活動や少年団活動の中で多くの優秀な選手が育てられており、身近な環境で日常的にスポーツができる環境の確保が重要である。 ○各種スポーツは日ごろのスポーツ活動の成果を出す場として、今後もスポーツ協会や競技団体と連携を図り充実させていく必要がある。全道全国大会の参加も競技力向上に大きな役割を果たしており、個々の選手の負担を減らすため、大会参加にあたっての助成金の充実を図る必要がある。 ○各種スポーツ賞の表彰はスポーツ競技者や指導者の励みになるもので、今後もスポーツ振興のための充実を期待する。 ○さまざまな大会で競技意識が高まる機会を多く設定しており、「施策の方向」は達成されていると考える。
			理事長杯U-10フットサルフェスティバル		
			市長杯少年柔道大会		
			理事長杯全道ミニテニスフェスティバル		
			理事長杯釧路地区小学生バレーボール大会		
			理事長杯U-10ミニバスケットボール大会		
			釧路小学生陸上競技大会兼北海道小学生陸上競技記録会		
理事長杯U-9サッカーフェスティバル					
市長杯少年アイスホッケー大会					
釧路市少年剣道大会					
優秀な成績を収めた地元スポーツ選手やスポーツの普及振興に貢献した方を顕彰し、競技スポーツの活性化と、すそ野の拡大を図ります	優秀な成績を収めた地元スポーツ選手やスポーツの普及振興に貢献した方を顕彰し、競技スポーツの活性化と、すそ野の拡大を図ります	釧路市スポーツ賞	スポーツ課		
		釧路市長特別表彰			
		釧路市教育長特別表彰			
(2) スポーツ少年団の活性化	誰もが楽しく取り組める新たな種目の導入や活動プログラムの開発等スポーツのすそ野拡大の取組に努め、スポーツ少年団や団員を増やす取組を進めます	スポーツ少年団への加入促進	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	○地域の児童生徒のスポーツ活動を支える組織として、優れた指導者の確保や団員の交流を深める諸活動等を通して、団の活性化に努めており、「施策の方向」は達成されていると判断する。 ○青少年スポーツ活動の一貫指導と育成のため、スポーツ少年団活動の充実を図るとともに、未加入種目の同好会やサークルがスポーツ少年団に加入し、行政はもちろん、指導者や母集団、競技団体が連携して、青少年に対し新たにスポーツの普及を同じ方向で進められるようにする必要がある。	
		冬のスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課		
	スポーツ少年団の活性化を図るため、団員同士の交流を深めるさまざまな事業の展開とともに、指導者とリーダーの確保・養成に努めます	スポーツ少年団の活性化を図るため、団員同士の交流を深めるさまざまな事業の展開とともに、指導者とリーダーの確保・養成に努めます	釧路市スポーツ少年団スポーツ交流会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	○中学校の部活動の地域移行は、教職員の負担を減らす考えの一方、学校の支援なくしては進まない。まずは子どもたちの身近な活動の場を減らさないよう全力で取り組む必要がある。 ○外部からの専門的指導を受け、直接的に競技力をアップしたり、スポーツ以外の交流を深めチームカアップを高めたりしており、「施策の方向」は達成されている。
			釧路市・釧路管内スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール		
			日独スポーツ少年団同時交流派遣		
			少年団種目別交流大会		
			スポーツ少年団体カテスト会		
			スポーツ少年団宿泊研修交流会		
	(3) 競技スポーツ活動への支援	全道・全国・国際大会やスポーツ合宿を積極的に誘致し、地域スポーツの活性化を図ります	各種大会の誘致活動	スポーツ課	○大会や合宿の誘致は、地元選手の競技力の向上に果たす役割は大きい。また、派遣・開催の助成は、出場者や開催団体に大きな支えとなっており、スポーツ振興に大変意義深いものである。 ○幅広い競技スポーツの大会誘致や合宿誘致が望まれる。 ○誘致は地元選手にとっても影響があり、助成も大変支えになる。
			合宿誘致活動		
全道・全国・国際大会への派遣や地元開催の同大会への助成、各種競技団体による研修会等への助成など、スポーツ振興のための支援を行います			全道・全国大会等派遣助成 全道・全国大会等開催助成 競技団体スポーツ講習会開催助成	スポーツ課	
対する基本方針	○競技スポーツの振興には、活動する場と優れた指導者の確保、しっかりとした組織づくりが必要である。そして、スポーツ競技への市民の理解と支援につながる。 ○スポーツをする本人だけでなく、関わる指導者、保護者、施設の問題でもあると思うが、ひとつずつクリアしていったほしい。ボランティアばかりだけでは持続が難しい。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント	
3 スポーツ振興のための基盤整備	(1) スポーツ施設の充実	スポーツ施設の長寿命化に向けた計画的な整備やルール変更等に準じた備品の更新など、安全・安心で快適に利用できる施設の充実に努めます	スポーツ施設における煙突用断熱材（アスベスト）調査	スポーツ課	○各施設の整備が計画的に進められ有効に活用されている。また、スポーツ備品の更新や市民のニーズに沿った設備の整備が行われ、「施策の方向」は達成されていると考える。今後とも市民が利用しやすい安全な施設の充実に努めていただきたい。 ○スポーツ施設の充実と活用は、スポーツ活動の普及振興を図るための大切な条件のひとつである。そのため施設が同一競技だけではなく、多目的な有効利用も必要と考える。 ○学校体育施設は青少年のスポーツ振興に大きな成果を残してきた。文化活動も含め中学校部活動の地域移行に伴い、学校施設が利用できない等の問題が起こらないよう十分配慮いただきたい。 ○安全のための施設の充実と計画的な整備は必要である。	
			鳥取温水プールの整備			
			釧路アイスアリーナの整備			
			キャッシュレス環境の整備（施設使用料）			
			キャッシュレス環境の整備（学校スポーツ開放）			
			柳町スポーツスケート場の整備			
			音別町運動施設の整備	音別生涯学習課		
			地域におけるスポーツ活動の拠点として、小中学校の体育館・グラウンドの有効活用や近隣自治体との連携による施設利用の促進を図ります	学校体育施設の開放		スポーツ課
			学校体育施設の開放（阿寒地区）	阿寒生涯学習課		
	施設利用者等の安全と人命を確保するため、不測の事態に備え、迅速で的確な救急体制と受け入れ態勢の向上に努めます	救命救急法講習会の実施	スポーツ課			
		スポーツ施設におけるAEDの整備	阿寒生涯学習課			
	(2) スポーツ活動を支える人材の確保	地域でのスポーツ活動の推進や学校での部活動を支援するための指導者の確保・育成を図ります	地域スポーツリーダーの養成	スポーツ課	○地域スポーツリーダー協議会の研修会等を通じた新たなスポーツリーダーの養成とともに、地域スポーツの振興とスポーツ人口を増やす役割を担ってきたスポーツリーダー協議会の解散は、各地区の支援・育成に課題を残さないか心配である。 ○学校部活動の地域移行に関して、指導者の育成・確保を考えるのであれば、各種競技団体、スポーツ少年団、教職員を含め、新たな地域指導者の養成のための協議会や研修会が必要と考える。 ○すべてがボランティアとはならないと考えており、指導者への謝金や施設の確保など市教委や市全体の取組が必要であり、具体的な方向性を早急に示す必要がある。 ○青少年のスポーツ活動の中心的役割を果たしてきたのは、体育の授業だけではなく、中学校・高校の部活動であり、先生方であり、スポーツ少年団活動の指導者等であると言える。そのためにも地域スポーツ指導者の養成・確保が急務である。地域で子どもたちを受け入れる環境は簡単にできることではなく、地域指導者や学校の役割を行政が中心となって検討する必要がある。 ○スポーツ推進委員協議会は、行政とともに本市のスポーツの進むべき方向性を示す立場として、さまざまなスポーツ振興に大きな役割を果たしてきた。今後もさらなる活動の充実を期待する。 ○スポーツ少年団では、教員、保護者、地域等指導者による研修や講習会を開催し、指導者養成や資質向上に向け研鑽を積んできており、今後も継続した活動を行う必要がある。 ○現在活動していただいているスポーツリーダーの活動を鑑み「施策の方向」は達成されている。今後も新たな指導者の育成・確保に力を注いでいただきたい。	
			地域スポーツリーダー研修会			
			釧路市地域スポーツリーダー協議会			
スポーツ指導員「リーダーバンク」の養成と確保・活用						
市民協働型事業						
学校の運動部活動の地域移行を見すえ、子どものスポーツ活動を支えるため、スポーツ環境の充実に向けた学校とスポーツ団体等による体制の構築を図ります		学校部活動の環境整備	スポーツ課 学校教育課			
適正なスポーツ倫理を身に付けた専門的指導者を養成するため、関係団体と連携し、各種研修会や講演会等の開催を促進します		スポーツ推進委員協議会	スポーツ課			
		スポーツ少年団指導者協議会運営委員会	釧路市スポーツ協会（スポーツ課）			
		スポーツ少年団・母集団交流研修会				
	スポーツ少年団母集団・指導者研修会					
	スポーツリーダー養成講習会、スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対するコメント
3 スポーツ振興のための基盤整備	スポーツに関する情報提供の充実 (3)	各種施設の利用状況や講座・イベントの最新情報を、「広報くしろ」やホームページ、SNS等で分かりやすく発信します	「広報くしろ」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	○広報紙やホームページ、SNS等多様な方法での情報発信が行われており、多くの市民が情報を受け取ることができるようになってきていることを評価する。さらに内容等を工夫し、市民に分かりやすい情報発信となることを期待する。
			「市P連だより」による講座・イベント等の情報提供		
			ホームページによる施設等の情報公開①		
			年齢や体力、健康状態に応じたスポーツ医・科学に基づく、安全かつ効果的な運動方法等の情報提供や各種運動に関する相談体制の充実に努めます	ホームページによる施設等の情報公開②	
		スポーツ振興財団機関誌「YELL」の発行		スポーツ課 釧路市スポーツ協会	
対する基本方針コメント	○スポーツ活動を支える、ヒト、モノの充実と情報共有が、スポーツ人口の拡大や競技力の向上につながる。さらなる基盤整備を期待したい。				